

日本史の始まり

世界史の上で、人類文化の最古の時代を旧石器時代という。この時代に属する文化が我が国で最初に発見されたのは、1949年の群馬県岩宿遺跡の発掘においてであった。「日本に旧石器時代はない」という、学界の保守的な意見を前に、発掘前は研究が進まなかった。日本での旧石器時代研究はまだ緒についたばかりである。

○気候と人類

●地球と列島の気候変動

約260万年前、地球は間氷期^{かんびょうき}と氷期を交互に繰り返す

(1) _____ (2) _____ 時代)を迎えた。

→著しい気温の上下で、氷河の大規模な溶解・形成があった。

→つまり、海面の⁽³⁾ _____ があったことを意味する。

⇒この時代において、大陸と離れていた日本列島も、

アジア北東部と少なくとも2回陸続きになった。



陸続きの時に、大型動物が日本列島に渡来した。

→ヘラジカ・マンモスが北海道以北に、オオツノジカ・ナウマンゾウが

北海道以南にほぼ分布した。

⇒長野県⁽⁴⁾ _____ は、ナウマンゾウの化石が出土したことで知られる。



図1 約2万年前の日本列島
*細線は現在の海岸線

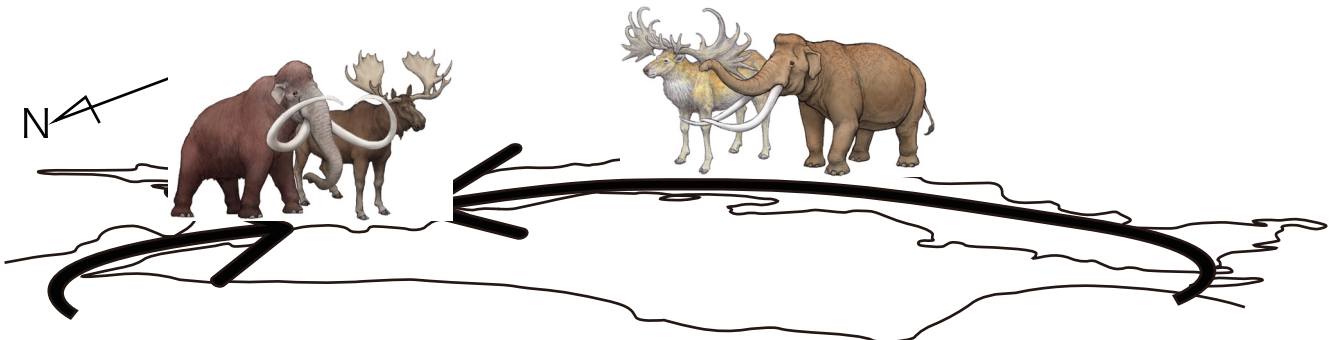


図2 日本列島への大型動物の移動・分布

●人類の進化

約650万年前（新生代第三紀）、人類が誕生がした。

⇒人類は、猿人・原人・旧人・新人の順に出現していった。



現在日本列島で発見された更新世の化石人骨は、

沖縄県の⁽⁵⁾ _____ ・^{やましたちょうどうじん}山下町洞人や

静岡県の⁽⁶⁾ _____ などが挙げられる。

⇒これらは、いずれも新人段階の人類である。

◇骨などの放射性元素⁽⁷⁾ _____ 14の濃度で年代可能

◇明石人は新人とする説が有力



上記の人骨の特徴を受け継ぎ、また、弥生時代以降の

渡来人と混血を繰り返して「日本人」が形成された。

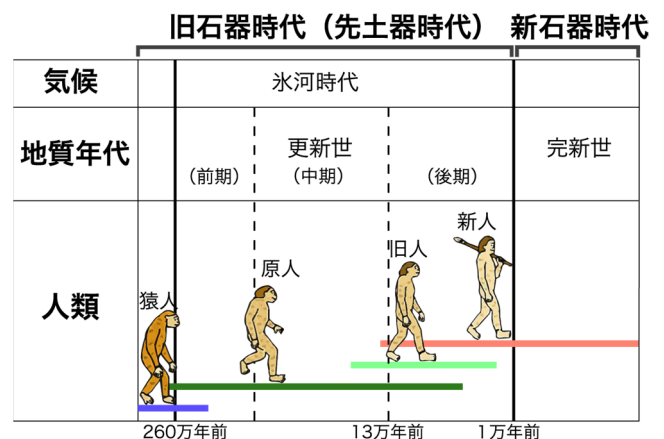


図3 気候・地質年代・人類の推移

○旧石器時代

●石器による時代区分

人類がまだ金属器を知らない時代は、⁽⁸⁾ _____ と呼ばれる。
⇒(8) はさらに、⁽⁹⁾ _____ 石器を用いた⁽¹⁰⁾ _____ と、
⁽¹¹⁾ _____ 石器が出現した⁽¹²⁾ _____ に分けられる。
⇒地質年代では、(10) は主に⁽¹³⁾ _____ にあたる。
◇完新世(約1万年前～現在)になると(12)の幕開け

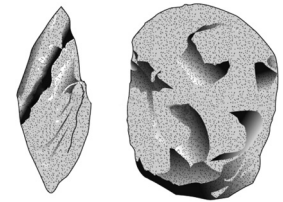


図4 打製石器(左)・磨製石器(右)

●アマチュアによる旧石器時代の発見

かつて、日本列島に旧石器時代の遺跡は存在しないと考えられた。
⇒日本列島での人類の歴史は、縄文時代からとされていた。
↓
1946年、⁽¹⁴⁾ _____ が⁽¹⁵⁾ _____ から石器を発見した。
⇒石器を発見した場所(群馬県⁽¹⁶⁾ _____)の調査、
そして各地での遺跡の調査が進み、これまでの常識を根底から覆した。
◇(15) …更新世の火山活動で、関東平野に積もった火山灰の地層

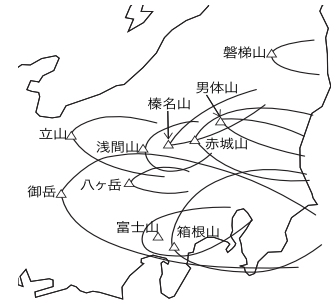


図5 火山灰層の分布

批難に屈しない考古学への情熱—相沢忠洋

独学の末に石器を発見した相沢忠洋は、1949年に明治大学の学者たちと岩宿遺跡を調査、日本の旧石器時代の存在を証明した。しかし、報告は大学の名義でなされ、相沢は調査の単なる付き添い役として、学界から存在を無視された。加えて、功績をねたむ学者・地元住民から売名行為と批難を浴びた。

その後も相沢はアマチュアとして地道な調査活動を続け、多くの遺跡発見に貢献した。やがて相沢への批難は消え、正当な評価がなされた。

右図は岩宿遺跡の相沢の像。常識を覆した石器を手に、じっと見つめている。



●旧石器時代の生活

旧石器時代の人々は生活のなかで⁽¹⁷⁾ _____ 石器を用いた。
⇒この石器には形状・用途別に、打製石斧・⁽¹⁸⁾ _____ ・
⁽¹⁹⁾ _____、そして組合せ式の⁽²⁰⁾ _____ があった。
◇(20) …木の柄や骨に数本埋め込んで組合せ、投げ槍などに使用
ロシアのバイカル湖周辺から伝播

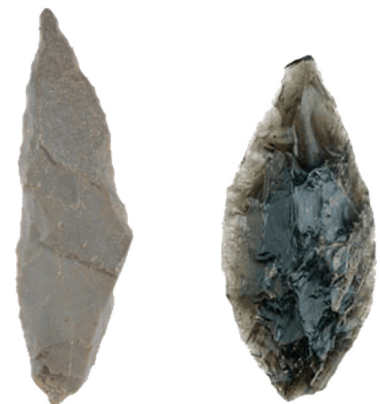


図6 ナイフ形石器(左)・尖頭器(右)

↓
人々は上記の石器を使用し、動物の⁽²¹⁾ _____ と、
植物性食料の⁽²²⁾ _____ をおこなって食料を得た。

◇旧石器時代での漁労の痕跡は未発見

↓
(21) (22) のために、人々は絶えず一定の範囲を移動した。
⇒従って、住まいには簡易なテント式の小屋や洞穴を利用、
また、大型動物を捕らえるために10人程度の集団生活であった。

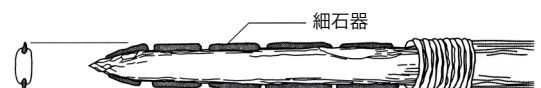


図7 細石器を埋めた槍